

## 「未来のために」

越谷市 四年 小川 果穂（おがわ かほ）

私は、夏休みに、リサイクル・プラザJBに見学に行きました。最近、リサイクルという言葉をよく聞きます。でも、どのようにリサイクルされるのか知らなかったので見学に行くことにしました。

かんきょう学習室には、リサイクルされたペンやファイル、タオルなどがありました。これらは、ペットボトルから作られていると聞いて、びっくりしました。それは、私が考えていた以上に、いろいろな商品や部品などに変身していたからです。

工場には、ルートマンが運んできた、かんやビンの入ったふくろが、山のようにつんでありました。これは、自動はん売機の横にあるゴミ箱に入っていた物です。飲み終わったかんやペットボトルは、「ゴミ」とよばれる物だけど、このゴミ箱に入れられ、リサイクルプラザに運ばれたかんやペットボトルは、ただの「ゴミ」ではなく、これから、リサイクルされ生まれ変わる大切な「モノ」になるのです。なんてすてきなんだろうと思いました。だって、ポイすてなどして「ゴミ箱」に入れられなかったかんやペットボトルは「ゴミ」のままなのに、「ゴミ箱」に入れられたかんやペットボトルは、新しいモノとなるのだから。私は、このことをたくさんの人に伝えたいです。「ゴミ箱」は「ゴミ箱」でも「まほうのゴミ箱」なんだよって。

みんなが分かるように、自動はん売機に、その説明をはっておいたり、ゴミ箱の表示を変えたりするなど工夫するともっとリサイクルが広がると思いました。

工場では、機かいで分別したり、手選別です早くとう明なガラスなどに分けたりにしていました。ここで働いている方がいるおかげでリサイクルでき、限りある地球のしげんが守られているのだと知りました。また、リサイクルするには、たくさんの方の手やひ用がかかるのだと分かりました。だから、私たち一人一人が毎日の生活の中で意しきを高めないとはいけません。自分だけ…一人ぐらいやらな

くても…という気持ちを持ってはいけません。私も今日から、意しきしてやっていきます。地球の未来のために。